

ふれあいの橋の会

REPORT よなご

スイートピー

と き 2026年 5月 7日 (木) 14:00~15:30

訪問先 デイハウスよねはら (小規模多機能型居宅介護施設) 米子市米原 8-5-77

デイスサービスセンター暖だん倶楽部

出席者 【委 員】 田平 敏雄、三島 峰子

【よなごエリア 加治佐 栄一 (デイスサービスセンター暖だん倶楽部 管理者・主任)

炭山 理恵 (デイスサービスセンター暖だん倶楽部 副主任)

佐藤 義彦 (デイハウスよねはら 管理者・係長)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

YONAGO Area Report



体幹の安定や転倒予防につながる レッドコード





開会（荒井）：1階には「**デイサービスセンター暖だん倶楽部**」、2階には小規模多機能型居宅介護施設「**デイハウスよねはら**」、3階は「**米原3区自治会集会所**」として利用されています。それぞれの施設について、説明をお願いします。

■施設の現況・課題

加治佐管理者：5月1日付けで、後藤ヶ丘地域包括支援センターから異動してきました。**デイサービスセンター暖だん倶楽部**は、月曜日から金曜日の午前の部、午後の部に18名ずつが利用され、現在116名が登録されています。要支援者97名、要介護者19名で、比較のお元気な方の利用となっています。内容については、炭山副主任が説明します。

炭山副主任：理学療法士の資格を活かし、機能訓練指導員として勤務しています。暖だん倶楽部は、お元気な人が多いので、運動に特化した訓練を実施しています。平均年齢84.8歳、90歳以上も30名利用されています。売りの一つは、赤いロープを活用した**レッドコードでの全身ストレッチ**、各種マシンでのトレーニングを実施した後、希望者を近くのスーパーマーケットにお連れする**買い物支援プログラム**です。レッドコードは、ノルウェーで開発されたリハビリ機器で、簡単で安心して利用できると好評です。買い物は、商品を選び、計算が必要で認知症予防にもなります。その他、春は花回廊に出かけたり、冬には自治会や子ども会と合同で餅つき大会を実施。米子市から受託した**フレイル予防実践教室**も開いています。

三島委員：ご利用者は、お元気な方が多いとのことですが、**レッドコードの活用**は効果があるようですね。アザレアコートでもされていますが、利用者からの評判はとてもいいです。

炭山副主任：天井から吊るしたロープで体重を支え、膝や腰の負担を抑えて運動するもので、**ふらつきを防ぎ、転ばない体力づくり**に繋がります。

田平委員：スーパーマーケットでの買い物支援は、毎回ですか。金額は制限されていますか。

炭山副主任：毎回出かける人が多いです。金額は限度額を設定しています。

三島委員：自分で好きな商品を選ぶという行為は、楽しい気持ちに繋がると思います。

田平委員：送迎をされていますが、米子市内ならどこからでも利用できますか。

炭山副主任：苑車で送迎をしています、遠い方で30分程度かかっています。ドライブが好きな人も多く、送迎も楽しい時間になっているようです。

三島委員：介護保険のサービスを利用される人は、それぞれの感覚をお持ちだと思いますが、機能回復や認知症予防だけでなく、**人との交流で友人ができ、楽しい人生に繋がっている**ようです。

佐藤管理者：デイハウスよねはらは、小規模多機能型居宅介護施設です。通い、泊まり、訪問の3つのサービスを顔なじみの職員が提供し、専属のケアマネが常駐していますので、様々な相談に応じることができます。機械浴を含む3種類の浴槽を揃えていますので、それぞれに合った利用ができます。地域密着型施設であり、夏はよねはら祭り、冬は餅つき大会など、地域の子どもたちとの交流もしています。今年度は地域とのふれあいを増やしたいと思い、秋祭りを11月に開催予定。職員の大漁太鼓などの協力で盛り上げたいと計画しています。登録定員は29名ですが、現在24名が登録されています。男性5名、女性19名、平均介護度2.1、要支援から要介護まで、ご利用者は様々ですが、状況に応じて利用されています。

田平委員：3階は、米原3区の自治会集会所として利用されているので、地域との交流は多いと思います。現状はどうか。

佐藤管理者：自治会長と話す機会も多く、合同で行事を実施するようにしています。特に、子どもからお年寄りまでが参加できるよう工夫しています。

田平委員：周辺は、一戸建ての民家が連坦している地域で、人口は多いでしょうが、子どもの数が減少していると思います。地域行事は、子どもの参加で盛り上がり方が違います。高齢者と子どもの交流も意義があります。ぜひともふれあいの機会を増やしてください。

加治佐管理者：暖だん倶楽部の利用者の中には、10年以上利用されている人もあります。地域との交流事業にも積極的に参加し、地域の皆さんと親しくされている人もあります。

三島委員：この施設は、元は整形外科病院だったと思います。こうほうえんが借用して現在に至っていますが、自治会の集会所としても活用されており、地域交流の模範になれる施設です。今後も積極的に交流を深めてください。





■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

三島委員：レッドコードを使用して全身運動をされていましたが、見ているだけでも元気をもらいました。レッドコードは、座ったままでするものだと思っていたのですが、今日は立ったままでされる人が2人おられました。体力的にはどうですか。

炭山副主任：立位での運動は負荷がかかり大変ですが、頑張って取り組んでおられると思います。

田平委員：私も自宅で運動をしようと健康器具を購入しましたが、長続きしません。みんなで励まし合って取り組むから続くのでしょうね。

炭山副主任：レッドコードは、天井から吊り下げられたロープとハンモックのようなサポートを利用し、身体への負担を軽減しながら効率的に筋肉を鍛えることができます。

田平委員：指導されていた職員は、声がとても良く、適切に指導されており、感心しました。

三島委員：両施設とも掃除が行き届いていました。職員もご利用者に優しく接しておられました。私たちへの挨拶も明るく良い印象を持ちました。

田平委員：物価高で大変な時代を迎えていますが、利用料金の値上げはありませんか。

佐藤管理者：食費については、少し変化があると思いますが、基本的な料金は変更していません。

三島委員：燃料費も高騰が続き、全ての施設で影響が出ているかと予想しています。法人を運営する皆さんは、とてもご苦労があるかと推測しています。引き続き、ご利用者に寄り添った事業運営をしていただきますようお願いします。

荒井監事：次回は、6月4日（木）14：00～ デイサービスセンターかわさき、加茂地域包括支援センターを予定しています。